

演習 II

科目ナンパリング SEM-302
必修 2単位

中西 宏太

1. 授業の概要(ねらい)

ダイナミックに進む東南アジア・ASEANの経済発展と地域統合を捉え、各国の経済成長や歴史、政治分野の地域研究を基礎しながら、ASEAN諸国の経済・政治・社会の変容を包括的・学際的に理解することを目的とする。テーマとしては、政治経済の硬いものから、社会文化の柔らかいものまでを扱う。

講義授業では、各回ASEAN・東南アジアについてのテーマ別講義を30分程行い、それについてのディスカッションなどを45分ほど行う。また、発表授業では、タームペーパー作成のための中間発表を行い、調査研究と論文作成、ディスカッションの方法を実践的に学ぶ。

2. 授業の到達目標

ASEAN・東南アジア事情に詳しくなる。

自らの関心テーマを見つけ、調査、論文作成の方法を学ぶ(レポート型もしくは論文型)。
発表スキルの獲得とともに、他者の発表に対する建設的なコメントができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

タームペーパー(A4で7-8枚程度):50%
中間発表、ディスカッション他:50%

4. 教科書・参考文献

参考文献

遠藤環・伊藤亜聖・大泉啓一郎・後藤健太 編 『現代アジア経済論』 有斐閣ブックス
今井昭夫編集代表 『東南アジアを知るための50章』 明石書店

石川幸一・朽木昭文・清水一史編著 『現代ASEAN経済論』 明石書店

黒柳米司・金子芳樹・吉野文雄編著 『ASEANを知るための50章』 明石書店

国際機関日本ASEANセンター 『ASEAN情報マップ』 国際機関日本ASEANセンター

増原綾子・鈴木洵子、他 『はじめての東南アジア政治』(2018) 有斐閣ストゥディア

川中豪・川村晃一 『教養の東南アジア現代史』(2020) ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

講義や文献を参考にしながら、タームペーパーのための関心テーマを1ヶ月程度で見つけること。テーマは、東南アジア・ASEANにかかる経済、政治、社会、文化、歴史、産業など各自の関心事であれば何でも可。

6. その他履修上の注意事項

ゼミは毎回出席が原則。

水曜日4限を正式な授業とする。水曜日5限は映像で東南アジア社会を理解する。参加自由。映像・映画リストは授業で配布予定。

7. 授業内容

【第1回】

前期タームペーパー総評、後期演習の概要説明
「タームペーパーの書き方(1)「Why, What, Howについて」
(以下、講義日程や内容はメンバーの関心等によって変更の可能性あり)

【第2回】

講義(1)とディスカッション(開発独裁と民主化)
「なぜタイではいつもクーデターが起こるのか」「なぜ経済格差と貧困がなくならないのか」

【第3回】

予備

【第4回】

テーマ発表(1)「タームペーパーのテーマ候補について」

【第5回】

講義(2)とディスカッション(LGBTQ)

「東南アジアでのLGBTQの社会的地位や生活は?」

「タームペーパーの書き方(2)「調査方法と構成について」

【第6回】

予備(就職ガイダンス)

【第7回】

講義(3)とディスカッション(植民地化と国民国家建設、想像の共同体、ナショナリズム)

「なぜ、ASEANの公用語は英語なのか?」「ベトナム戦争はなぜ起ったのか?」

【第8回】

講義(4)とディスカッション(華僑、財閥・クローニー・新興企業)

「東南アジアの金持ちはどうやって稼いできたのか」「グラブ、エアアジアって儲かっているのか」「スタートアップって何?」

【第9回】

講義(5)とディスカッション(中所得国の大ワナ)

「なぜ、シンガポールは先進国になれたのに、タイはそうではないのか」「タイランド4.0って何?」

【第10回】

講義(6)とディスカッション(高齢化・格差・社会保障)

「アジアでも高齢化が進んできたって本当か?」「人口ボーナスって何?」

【第11回】

講義(7)とディスカッション(観光産業)

「どの世界遺産が一番良さそうか」「シンガポールのカジノは儲かっているのか」「アンコールワットに行ったことがあるか?」

「タームペーパーの書き方(3)「引用、フォーマットについて」

【第12回】

中間発表(1)タームペーパー概要発表

【第13回】

中間発表(2)タームペーパー概要発表

【第14回】

講義(8)とディスカッション(グローバリズム、リージョナリズムとASEAN)

「ASEANは米中貿易戦争とどう付き合っていくのか」「南シナ海問題って何?」「ロヒンギャって何?」「アジアコンセンサス?」

【第15回】

オンライン講義(9)と総括(多様性の中の統一)

「多様性の中の統一って何?」